

団体名		社会福祉法人武蔵野						
①	指 標 名	施設大規模修繕及び建替事業の推進			目 標 値	大規模施設修繕計画及び中期財政計画に基づく工事等の着実な実施	実 績 値	計画改訂含め、順調に進んだ事業もある反面、補助事業の内示が下りず延期した工事もある。
	過 去 の 実 績	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	達 成 率	60.0%	達 成 状 況	未達成
	(単位:)	-	計画策定	資金について調整				
	取 組 内 容	- 法人所有大規模施設修繕計画及び中期財政計画の改訂を行った。 - ゆとりえ：R7キュービクル更新工事を実施し、R8工事に向け、武蔵野市との調整ほか、準備を行った。 - 障害者総合センター：R8工事に向けた補助金申請を行い、東京都及び武蔵野市と継続して協議を行ってきたが、東京都の補助内示が下りず、工事は1年先送りすることとなった。 - 武蔵野福祉作業所：仮設地での事業に向け、設計士、東京都及び武蔵野市の関係各課との調整を行った。						
	一 次 評 価	上記計画の時点修正を行い、ゆとりえでは着実に工事を進めることができた一方、総合センターの改修は東京都の補助内示が下りず、1年先送りすることとなった。不採択の理由は不明であり、対策は立てづらいが、工事を着実に進められるよう、東京都をはじめ関係機関と調整を行っていく。						
二 次 評 価	計画の改訂を実施し、着実に施設改修等の事業に取り組まれた。障害者総合センターの補助事業については引き続き東京都、関係機関との調整を密にされ、工事先送りによる影響についても検討の上、対応されたい。							
②	指 標 名	健全経営のための財務改善			目 標 値	45,000,000円 (資金収支ベース)	実 績 値	66,204,349円
	過 去 の 実 績	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	達 成 率	147.1%	達 成 状 況	達成
	(単位:円)	25,172,471	42,399,050	68,678,561				
	取 組 内 容	第六期中期基本計画に沿った取組みの継続 ・事業及び業務の見直し。今年度はゆとりえで厨房体制の見直し、けやきで就労継続支援A型利用者の退職に伴う閉店を行った。 ・ミライズ基金の周知と活用 ・職員給与・手当については、東社協、武蔵野市などにほぼ準拠する形で改正を行った（令和8年4月～） ・中期財政計画等に基づく計画的な積立の実施						
	一 次 評 価	・令和7年度の法人全体の資金収支(当期資金収支差額合計)は約6,620万円のプラスとなり、目標を達成した。(前年度比△247万円)。全体としては財務状況は堅調に推移した。 ・福祉作業所の建替えをはじめとした法人所有施設の修繕・改修等への対応や借入金の返済、人材の確保・育成のためには今後も一定の資金が必要となるため、利用者を確保するとともに、計画的な資金の積立て・運用、不断の事業見直しを行っていく。						
二 次 評 価	事業の見直しに積極的に取り組み、収支について大幅に目標値を上回る実績となったことを高く評価する。今後の施設修繕、建替え事業への対応や人材の確保・育成に向けて、今後も健全な経営に取り組まれたい。							
③	指 標 名	人材の確保、定着、育成			目 標 値	採用人数の確保(採用者よりも退職者が上回らないようにする)	実 績 値	新規採用27人 (退職者20人)
	過 去 の 実 績	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	達 成 率	100.0%	達 成 状 況	達成
	(単位:人)	新規採用15 (退職者19)	新規採用15 (退職者21)	新規採用9 (退職者9)				
	取 組 内 容	- 採用活動、SNS活用等採用PR活動の拡充、ホームページのリニューアル - 法人人材育成方針に基づく体系的な研修の実施 - 人事給与制度の見直し(再掲)						
	一 次 評 価	・職員数は一定確保できているところではあるが、退職者も少なからずいる状況である。 ・令和8年度も引き続き職員の採用プロジェクトチームを設置するとともに、リニューアルしたホームページ等も活用して、法人のPRを行い、採用人数を確保するとともに、施設長会議や職員研修を通じて、法人の基本理念や職員行動指針の浸透を図っていく。						
二 次 評 価	採用活動、法人のPR活動に積極的に取り組み、例年を上回る採用者を確保された点を評価する。一方、退職者の人数は昨年度を上回っているため、人材の定着に向けた取組みにも引き続き注力されたい。							